

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	令和元年度福岡教育事務所管内 「学校を核とした人づくり・地域づくりセミナー」 ～地域学校協働活動の推進に向けて～	
期 日	令和元年9月13日（金）	
参加者	36名	
日 程	時 間	内 容
	13:00 13:15	【受付】
	13:20	【開会行事】
	13:30	【説明】「福岡教育事務所管内における 地域学校協働活動の課題について」 福岡教育事務所 社会教育主事 山森 直哉
	16:35 16:40	【講話】「地域学校協働活動の推進に向けて」 【グループ協議】「支援から連携・協働へ ～それぞれの立場でできること～」 昭和女子大学グローバルビジネス学部特任教授 コミュニティサービスラーニングセンター長 興梠 寛 氏
		【閉会行事】
活動の 実際	【講話】 昭和女子大学グローバルビジネス学部特任教授の興梠 寛氏に、「地域学校協働活動の推進に向けて」というテーマで講話をしていただきました。 まず、地域学校協働活動がなぜ必要とされているのか、コーディネーターやボランティアにはどのような力が必要なのかなど、地域学校協働活動を推進していく上で基礎的な内容や実践で活かせる内容など、大事なことを教えていただきました。 さらに、千葉県木更津市の「学校支援ボランティア」事業の取組の事例をご紹介していただきました。取組の過程の具体的な話や実際の映像を見せていただき、参加者にとって今後の取組の参考になったのではないかと思います。	



【興梠氏による講話の様子】

活動の 実際	【グループ協議】 「ボランティア人材の開拓」「コーディネーターのスキルアップ」「学校と地域の連携・協働」「子どもを育む地域づくり」の4つの観点をもとに、課題と解決策をグループごとに協議しました。 どのグループでも活発な協議がなされ、熱心に話し合っている様子が見られました。「学校、行政、地域の様々な立場からの率直な意見が聞けて良かった」という声が多く聞かれました。 【全体での交流の様子】
全体を とおして	終了後のアンケートでは、「地域学校協働活動の在り方・仕組みづくりへの方向性が明らかになった」「社会教育の経験を活かし、地域と学校を結んでいきたい」など今後の活動のヒントを得られたことが分かる記述や、「これからの学校を変えていかなければならない」「コーディネーターのリーダーシップが必要であると感じた」という課題意識を高めることができたことが分かる記述が多く見られました。このことから本セミナーが、参加者にとって有意義なものになったのではないかと考えます。 福岡教育事務所社会教育室といたしましても、今後も管内市町に対しての支援や情報提供を行い、地域学校協働活動の推進に取り組んでいきたいと思えます。